

令和2年度 角田支援学校白石校 学校評価(自己評価)集計結果

重点目標	1	児童生徒一人一人の教育的ニーズに基づいた学習指導の充実
	2	教職員の指導力・専門性の向上
	3	安心・安全な学校づくりの推進
	4	特別支援教育の地域のセンター的機能の充実
	5	地域に根ざした交流及び共同学習の推進

達成状況	4	十分できた	達成度	A	十分達成	8割以上
	3	概ねできた		B	概ね達成	6割以上
	2	ややできた		C	変化の兆し	4割以上
	1	不十分であった		D	不十分	4割未満

総合的な学校関係者評価

--

学校自己評価										評価項目ごとの学校関係者評価		
目標	評価項目(重点努力目標)	具体的方策	方策の評価指標	達成状況				達成度		次年度への課題と改善案	学校関係者評価	
				4	3	2	1	平均	改善案該当		四段階	実施日
1	児童生徒一人一人の教育的ニーズに基づいた学習指導の充実	①保護者との協働による個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用を行う。	・個別面談や教育相談で得られた情報及び一人一人の実態に即した計画を作成する。	・保護者との合意により個別の教育支援計画や個別の指導計画が作成できたか。	5	7	0	1	3.2	B	・授業時数、週時程表の見直し ・校外行事の精選、内容の検討 ・指導案の様式改訂 ・学部教育計画の構成検討 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画などの様式変更(教務支援システム導入に伴う)	
			・学力や生活力のより確かな実態把握を行う。	・実態把握に必要な諸検査ならびに学部の教員による観察を実施し、計画の作成に生かすことができたか。	2	10	1	0	3.1			
			・個別の支援計画や個別の指導計画の修正、評価を適切に行う。	・学部でのケース会において、一人一人の実態に適した計画、評価について検討できたか。	3	9	1	0	3.2			
			・白石校内の学部間の系統性を考慮し、特色ある教育課程の作成と実践に努める。	・学部間のつながり及び白石校の特色を活かした教育課程の編成ができたか。	2	9	2	0	3			
2	教職員の指導力・専門性の向上	②小学部・中学部の一貫性を考慮した教育課程を編成する。	・本校の小中学部との連携、高等部への接続を意識した教育課程の編成に努める。	・本校との学部間合同学習並びに中学部が高等部で行う実習を教育課程に位置づけ、実施することができたか。	2	7	3	1	2.7	B		
			・志教育に基づき、知的障害児の自立と社会参加を見据えた指導実践を行う。	・志教育の計画を踏まえ、自ら考えて行動する(生活する)姿を見据えた実践ができたか。	3	9	1	0	3.2			
			③本校の教育課程を考慮した教育課程の編成に努める。	・研究テーマに基づき授業改善を中心とした共同研究を推進する。	4	8	1	0	3.2			
			・事前・事後の検討会を重視して充実した授業研究を実施する。	・授業実践、分析を重ねることで教員相互の学び合いが深まり、授業改善を図るための情報を得ることができたか。	6	7	0	0	3.5			
3	安心・安全な学校づくりの推進	①日々の指導や授業研究により校内研究を推進することをおして授業の質を向上させる。(含、一人一授業等)	・一人一回、指導案(細案)を作成し授業研究を行う。	・一人で指導案を書き(TIによる他教員の協力も含む)、授業を行うことができたか。	3	8	1	1	3	B		
			②現職教育研修等をおして実践力を高める。(含、一人一相談等)	・外部専門家等の授業参観やICT研修会等を継続的にを行い専門性の向上を図る。	・指導における疑問等を外部専門家等の指導助言や校内における実践的な研修より、わずかでも解消することができたか。	7	6	0	0			3.5
			・実際の教育相談の場面を知り、一連の流れを知る。	・相談の主訴とそれに対する話の進め方が分かったか。	6	6	1	0	3.4			
			①訓練等の計画的な実施により、危機管理意識の向上を図る。	・安全教室や防災訓練等の充実を図る。	・実態に即した訓練(交通安全、防火、防災、保護者引き渡し等)の実施ができたか。	4	8	1	0			3.2
4	特別支援教育の地域のセンター的機能の充実	②緊急対応マニュアルによる実践的な訓練を実施する。	・訓練実施後の反省を生かした緊急対応マニュアルの改善を図る。	・反省を生かした緊急対応マニュアルの改善ができたか。	2	9	2	0	3	A		
			③児童生徒が安心して学べる学習環境を確保する。	・定期的に学習環境の整備状況の点検を実施する。	・毎月点検を実施し、教員ができる範囲での改善ができたか。	10	3	0	0			3.8
			④校内における安全の確保と限られた空間の有効活用を行う。	・施設設備の整備と有効な活用を行う。	・日々備品等の整理を行い、定期的に備品台帳等による確認ができたか。	2	10	1	0			3.1
			①幼稚園・保育所、小・中・高等学校等への迅速・適切な支援を行う。	・依頼のあった教育相談へ速やかな対応に努める。	・主訴の緊急度を考慮した上で、速やかな対応ができたか。	9	4	0	0			3.7
5	地域に根ざした交流及び共同学習の推進	②関係機関と連携した特別支援教育の充実を図る。	・共通理解を図りながら、連携の具現化に取り組みたか。	・児童生徒の作品等を各種作品展に出品することができたか。	6	6	1	0	3.4	A		
			③特別支援教育に係る広報啓発活動を推進する。	・白石校の存在をアピールすることによる広報啓発を図る。	・ホームページを定期的に更新し、ネットワークを活用した広報啓発に努めることができたか。	7	6	0	0			3.5
			④地域での共生を見据え、学校間交流や居住地校学習を通して、インクルーシブ教育の理念を実現する。	・白石中学校、白石二小、居住地校と連絡・調整を図り、ともに学ぶ拠地を作る。	・自立を基盤とした地域社会で生きていくために必要な能力を養うことができたか。	4	9	0	0			3.3
6	地域に根ざした交流及び共同学習の推進	②地域の教育資源の活用と理解啓発を行う。	・地域の教育資源(人的資源、物的資源)を積極的に活用する。	・教育活動において必要に応じて地域資源を活用することができたか。	4	8	1	0	3.2	A		
					6	7	0	0	3.5			